

はじめに

○目的

わが国は、世界に類を見ないほど急激に高齢化が進展しています。特に高度経済成長期以降に形成された都市の多くは自家用車の利用を前提とした構造となっており、自分で自動車を運転することが難しくなる高齢者の中には、買い物や福祉・医療などの生活サービスを十分に受けることが困難な方が増加することが懸念されます。

一方、高齢者の活力ある暮らしや社会保障費抑制の観点からは、介護予防の一層の取り組みが必要とされています。とりわけ、高齢者が長時間を過ごす地域社会においては、生活利便性の確保と合わせて、犯罪や事故から安心して出かけられる環境づくりや、社会参加の機会の確保を通じて、高齢者の外出を促す取り組みがますます重要となります。

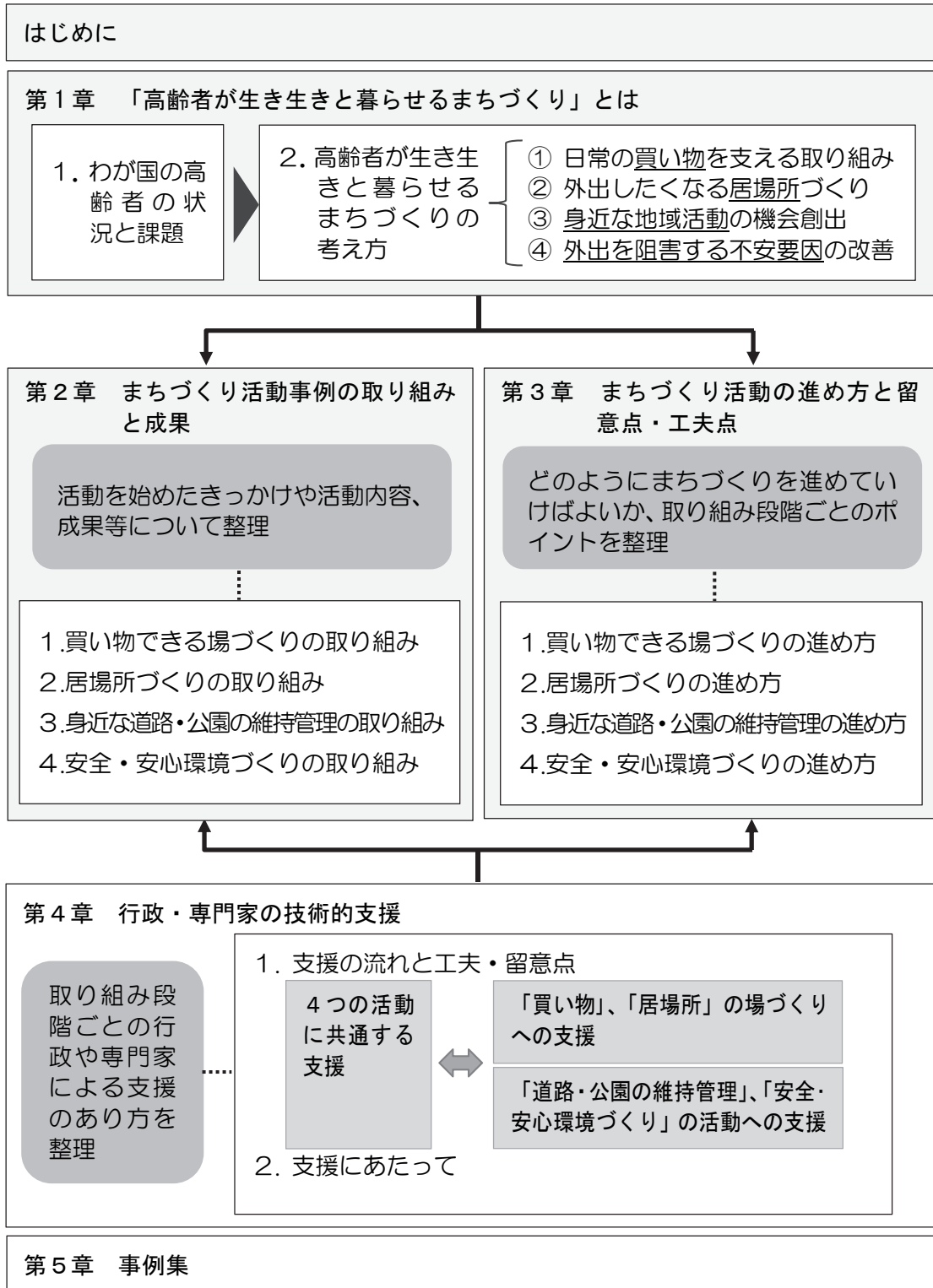
独立行政法人建築研究所では、高齢者を取り巻くこうした状況を「高齢者の安定した地域居住に関する課題」と捉え、都市・地域特性に応じた要因分析と効果的な対応策を検討してきました。その中では、特性の異なる4市7地区の高齢者を対象としたアンケート調査や、地域住民による課題解決に向けた先進的な取り組みの事例調査を行いました。本書は、これらのデータや知見を元に、高齢者がそれぞれの地域で生き生きと暮らし続けることが出来るまちづくりの方向性を示すことを目的としています。

○本書の利用にあたって

本書は、高齢化しても地域に安定して住み続けることができるまちづくりを進めようとしている町内会・自治会、福祉団体、商店会などの地域団体および、そうした活動を支援する自治体職員や専門家による活用を想定しています。

○本書の構成

本書は、高齢者が生き生きと暮らせるまちづくりを進めるために必要な視点を次のような構成でまとめています。



○高齢者の安定した地域居住のためのまちづくり手引き作成検討会について

本資料は、独立行政法人建築研究所が設置した「高齢者の安定した地域居住のためのまちづくり手引き作成検討会」での検討を経て作成しました。構成メンバーは下記の通りです。

学識経験委員（五十音順）

後藤 純	東京大学高齢社会総合研究機構・特任研究員
鈴木 雅之	千葉大学コミュニティ再生・ケアセンター・副センター長／准教授
橋本 成仁	岡山大学大学院環境生命科学研究科・准教授（建築研究所・客員研究員）
松村 博文	北方建築総合研究所居住科学部・主査（建築研究所・客員研究員）
松本 真澄	首都大学東京都市環境学部・助教

建築研究所

樋野 公宏	独立行政法人建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員
石井 儀光	同上
米野 史健	同上

作成補助

藤井 祥子	株式会社 都市環境研究所 主任研究員
安富 弘樹	同上
實方 理佐	株式会社 都市環境研究所 研究員
関 宏光	同上
西村 卓也	同上

（所属は平成 26 年 3 月時点）

